

施設名	AIAI NURSERY 高野
施設所在地	81
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音 ～色々な音に耳を傾けてみよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

生活や遊びの中で様々な音に触れあう子ども達。そのなかで、色々な音があることや、音の出し方を知り、表現を楽しむ姿が見られている。積み木と積み木を併せて音を鳴らしてみる姿や、音のなる玩具・絵本に合わせて手遊びやスキンシップを楽しむ姿が見られている。

2. 活動スケジュール

6月 太鼓をたたいたリズム遊びを体験

9月 音楽家による演奏会・楽器作りを体験

11月 楽器や音を楽しむリトミック体験

12月 発表会にて、音楽・演奏を体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

太鼓、ハンドベル、廃品、ピアノ、音のなる玩具や絵本

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①生活や遊びのなかで音を感じる体験をする

②聴いた音について、表現・再現する

③様々な音を併せてリズム遊びやリトミックを楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子供の姿、保育者との関わり等)

《子どもの声》

①太鼓の音は大きいね!

②音に合わせてリトミックするのは楽しいね

《子ども同士・保育者との関わり》

①どんな音かな?と一緒に聞いたり、鳴らしながら音を知る

②リトミックの表現について、子ども同士がテーマを決める環境を作る



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ①子どもは身近な玩具や絵本を用いて、様々な音に興味と感心を持ち、得たことを友達や保育者をわかちあう時間を大切にしていきたい。
- ②音に合わせた子どもの表現を尊重し、リトミックやリズム遊びの展開を工夫していく。
- ③発表会等では、音の表現に関する演目を子どもと一緒に作り上げていく。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

別紙2

施設名	AIAI NURSERY 高野
施設所在地	81
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然 ～身近な自然に触れてみよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

子ども達は、園庭にある巨大木材遊具や、生活の中で使われている木材玩具や食具など対して「これは何でできているの?」という興味を持ち始めている。あらゆる商品として子どもの手に届く木について、本来の形・匂い・素材を知り、木に関する興味や関心を育む為、活動を取り入れた。

2. 活動スケジュール

6月 「東京・森と市庭」業者によるかんな節プール、木材ワークショップを体験

8月 箸を使った食育を実施(つかみ取り、流しそうめん)

9月 「東京・森と市庭」業者による音楽演奏会、木材楽器作り、ワークショップを体験

11月 自由製作・廃品製作・室内玩具を用いてワークショップを体験

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

自然に関する絵本・図鑑、木育派遣職員(2名)、木育体験費用(2回分)、かんな節プール、ワークショップ用品(木材)、流しそうめん台、箸、室内玩具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①生活や遊びの中で触れる木について知る

②玩具や商品となって提供されるものの中で、木材を使用しているものに気づく

③木材の形・素材・匂いについて知る

④木材を用いた自然遊びを用いて、全身で木材を感じる

⑤木材のワークショップにて体験した豊かな想像力を活かし、様々な自由表現やワークショップの遊びを展開する

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

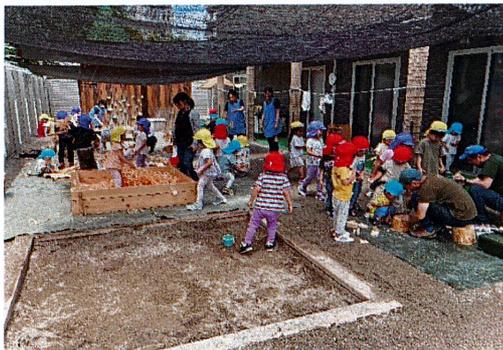
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

《子どもの声》

- ①木ってなんかいい匂いがする！
- ②箸も、AINI遊具も、おままごとの食べ物も木で出来ているんだね！
- ③これはどうやって作るんだろう？

《子ども同士・保育者との関わり》

- ①子どもの発見について共感し、様々な発見をわかちあう。
- ②一人ひとりがワークショップや木材遊びに興味を持てる様、援助をする。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ①都会では中々味わえない、木のぬくもり・素材・匂いについて興味や関心を抱き、それぞれの発想を用いたワークショップ体験となった。
- ②木材に触れる中で、素材・匂い・形・表現・音の発見があり、気づきをわかちあう表現力が育まれている。
- ③体験を通じた子どもの表情や世界観を尊重し、日頃の保育でも環境や遊びを提供することの大切さを気づく。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

別紙2

施設名	AIAI NURSERY 高野
施設所在地	81
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界 ～世界の仲間と出会ってみよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

保育園に通う子ども達は日本国籍のみならず、外国籍の子ども達の受入れが進み、それぞれの言葉や表現をわかちあう姿が見受けられる。文化の多様性や、子どもの最善の利益を尊重することを目的に、世界の友だちに触れあることで、他者の世界観や自分の在り方について知る機会を設ける為、テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

8月 英語で友達に挨拶をしてみよう	9月 外国の料理を知ってみよう (ピザ作り)
10月 英語で色を学んでみよう	11月 英語で動物を知ってみよう
12月 英語で花を知ってみよう	1月 英語で形を知ってみよう
2月 英語で表現してみよう	3月 英語で自然を知ってみよう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

プロジェクター、教材、ピザの材料

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①自分と異なる国籍や文化のお友達を知る
- ②世界のお友達と対面することや、外国の言葉に興味・関心を持つ
- ③様々な言葉に触れ、言葉を知ることややりとりを楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

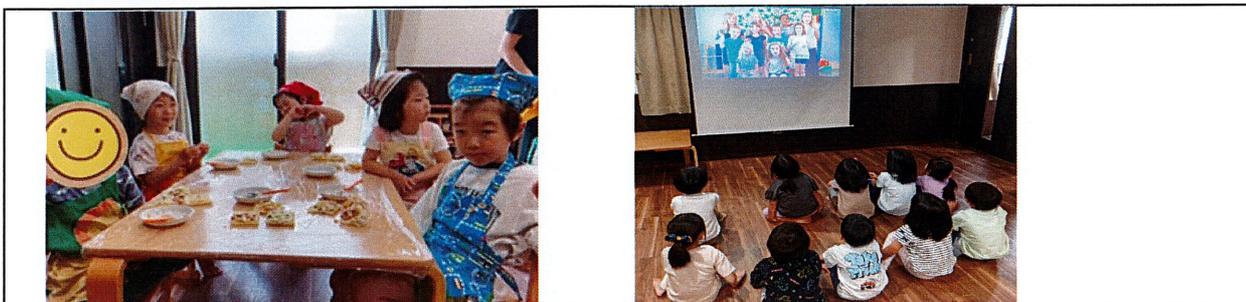
(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

《子どもの声》

- ①お友達がいっぱいいるね!
- ②おはようはハローって言うんだね

《子ども同士・保育者との関わり》

- ①保育園以外のお友達との交流について喜びを分かち合う
- ②世界のお友達の言葉や洋服、食べ物などを共に学ぶ



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ①保育園以外のお友達との出会いや言葉のやりとりを喜び、交流を喜んでいた。
- ②日本語以外の言葉のやりとりや単語を知れることを機に、英語に興味を持つ子どもの姿が見られた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

別紙2

施設名	AIAI NURSERY 高野
施設所在地	81
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

世界 ～日本の文化や日本の言葉を知ってみよう～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

日本社会で生きていく子どもたちは、現在多くの日本語や日本の文化に触れている。身近なことも、日本の文化を継承する行事も、全ては子どもに日本の文化を知って欲しいという想いで保育を計画していることから、テーマを設定した。

2. 活動スケジュール

8月 自分の考えを先生と話してみよう	9月 自分の考えを友達と話してみよう
10月 自分の考えを前で発表してみよう	11月 友達の発表を聞いてみよう
12月 発表会の台詞を話してみよう	1月 グループワークをしてみよう
2月 どうしたら良い? 考えてみよう	3月 友達と話して解決してみよう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

鉛筆、テキスト、日本の文化に関する絵本・図鑑

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

①生活や遊びの中で日本の文化や言葉を知る
②イラストや教材を持って、自分の考えを述べる機会や相手の話に耳を傾ける協調性を育む。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

《子どもの声》

①こうすれば良いんじゃない？

②皆で〇〇やってみようよ！

《子ども同士・保育者との関わり》

①正解や答えを開示せず、どうすれば良いかな？そういう考え方もあるね！主張を尊重する。

②皆の前で発信したり、相手の気持ちを受け止めながら話し合う姿を見守り、過程も褒めていく



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①子どもは自分の考えを述べる回数を重ねることで、自信を得ることができていた。

②子どもは相手の考えや言葉に耳を傾ける習慣が日常の中でも身に付き、相手を受容する気持ちが育まれた。

③グループワークでは、1つのテーマに対して意見交換を行う中で、課題解決や提案を自分達でし合いながら導き出す姿を見つけ、結果だけではなく過程も受け止めていく声掛けをしていく

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

別紙2

施設名	AIAI NURSERY 高野
施設所在地	81
法人名	AIAI Child Care 株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

表現 ～食への興味関心を育む（五感を味わう）～

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
生きていく上で欠かせない食事。保育園で友達と食事をすることや食育の機会を設けることで、食材に関する興味・関心が湧いている。また、それぞれの食材がどんな栄養になり、身体の健康に繋がるかを調理職員へ訪ねる姿がある。

2. 活動スケジュール

6月 自然物の見立て遊びを体験
7月 色々な野菜に触れてみる（野菜スタンプTシャツ作り）
8月 色々な食べ物を掴んでみよう（箸）
8月 流しそうめんつかみ取り
9月 お店屋さんごっこを体験
1月 実際につくってみよう

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
おままごと用品（キッチン台、食材、食具）、Tシャツ染料、流しそうめん機会、箸、食育で使用する食材

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①生活や遊びの中で食材に触れる体験をし、見立てや表現を持って知る
- ②見立てを通じて、食育活動の実践に活かす
- ③見立て遊びと食育活動を通じて、食への興味関心を育み、様々な食材に触れる

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

《子どもの声》

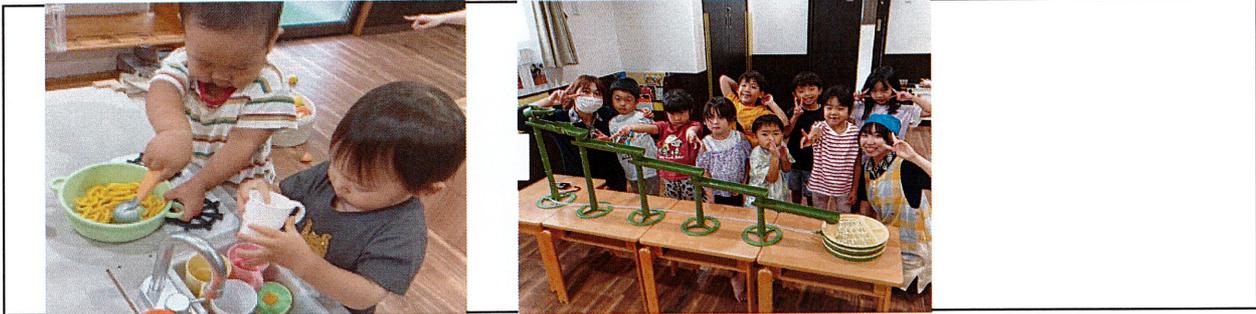
①〇〇(料理)できた!一緒に食べよう!

②料理をつくるのは楽しいね!

《子ども同士・保育者との関わり》

①子どもの見立てや表現は五感を味わう導入として捉え、子どもの様々な表現や見立てを共に喜び、一緒に楽しむ。

②様々な食育体験を通じて食材や食材の栄養を知り、食の大切さを分かち合う。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①子どもは様々な表現や見立てを用いて、豊かな表現力を発揮している。

②表現や見立ての中で得た気づきを友達や保育者と共有し、遊びを展開していく過程で、遊び込む力が育まれている。

③表現や見立て遊びを、実際の食育活動にて食に触れる機会を体験していく